

2015年1月11日 泉の里地里山里水定例観察会報告

場所： 飛沢ため池~井富ため池

天気： 晴れ 気温： 4.5度 水温： 0.5度

昨年の気温はマイナス4.5度でしたので、9度の差です。風もなく穏やかな観察日よりでした。この季節、花などはありませんでしたが、春を待つ冬芽や鳥たち、動物たちの生活のサインなどを観察しました。

いつものシジュウカラ、ヒガラ、コガラ、ゴジュウカラ、ヒヨドリの他に、コゲラ、アカゲラ、ノスリ、カワラヒワ、ホオジロそして今日はたくさんのカケスの鳴き声と姿に遭いました。

もう20年近くこの森を観てきましたが、スプロール的に建物が建ち、そこを使っていたリスや鳥、林床の植物が消えた行くことに心が痛みます。自分の無力さを感じています。個人の売買ですから、規制するにはやはり行政の施策遅れだと思えます。

建てることを規制できなくても、現状の植生や生態系に配慮することは可能なのに、何も出来ていないのです。八ヶ岳の自然の素晴らしさを認め、終のすみかとして選択したこの場所の生態系を壊していることに気がついているのでしょうか。

森を伐採し、太陽光発電のパネルを設置するなど、経済至上主義のなにものでもありません。そもそも論を無視して、安易に温暖化がどうの、CO2がどうのと正当化すればするほど、こちらが恥ずかしくなってしまいます。

賢明な利用による、この森の保全を多くの人に考えていただくために、今年も小さいながらもこの定例観察会を継続していきたいと思えます。



八ヶ岳



富士山



甲斐駒ヶ岳他



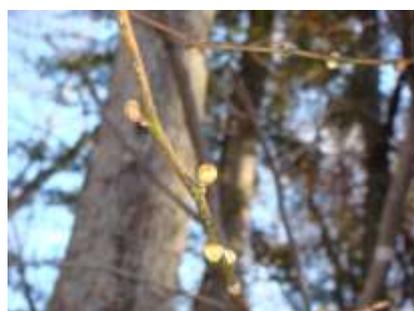
飛沢ため池南側の林



ため池の放水路



シロヤマブキの実



ミズキの冬芽



コバギボウシ



ウバユリ



凍った飛沢ため池



路面が凍った観察路



ダンコウバイの冬芽



アブラチャンの冬芽



風により倒木したカラ松



ネズミたちの食痕



キツツキの使用跡



ネズミの住まい



こんな家も



南北の風切り・右側



井富ため池



岸边にはコガモ



八ヶ岳南麓は赤松・ヤマツツジ群落として貴重な植生なのですが

伐採されたところには、赤松の実生がたくさん観えました。建物と赤松の共生を図ってほしいものです。